

2 賃金センサス 男女間や雇用形態間の賃金格差が過去最小

40

厚生労働省は2月22日、平成28年の「賃金構造基本統計調査」結果を公表した。それによると、男性の賃金が33万5,200円(前年比0.0%)(年齢43.0歳、勤続13.3年)となったのに対し、女性は24万4,600円(同1.1%増)(年齢40.7歳、勤続9.3年)で、女性の賃金は過去最高を記録した。結果として、男性を100とした男女間賃金格差は73.0(前年72.2)で、過去最小となった。

同様に、雇用形態別に見ると、男女計では、正社員・正職員が321.7千円(前年比0.2%増)(年齢41.4歳、勤続12.7年)に対し、正社員・正職員以外は211.8千円(同3.3%増)(年齢46.5歳、勤続7.7年)となった。正社員・正職員を100とした雇用形態間賃金格差は65.8(前年63.9)で、統計を取り始めた平成17年の調査以来、過去最小となっている。

女性の賃金は全学歴で前年を上回る

同調査は、全国の主要産業に雇用される労働者の賃金(6月分の所定内給与額)の実態を、雇用形態、就業形態、職種、性、年齢、学歴、勤続年数、経歴年数別等に明らかにすることを目的として、毎年7月に実施しているもの。このほど公表された概況については、10人以上の常用労働者を雇用する民営事業所(6万5,881事業所)のうち、有効回答が得られた4万9,783事業所について集計している。

それによると、男女計の賃金は、304.0千円(年齢42.2歳、勤続11.9年)となった。男女別に賃金カーブ(年齢階級とともに変化する賃金の状況をグラフで表したもの)を見ると、男性で

は、年齢階級が高くなるとともに賃金も上昇し、50~54歳で425.7千円(20~24歳の賃金を100とすると203.6)をピークに、その後、下降している。一方、女性も50~54歳の269.5千円(同135.1)がピークだが、その賃金カーブは男性に比べて緩やかなものとなっている。

賃金を学歴別に見ると、男性では大学・大学院卒が399.7千円(前年比0.7%減)、高専・短大卒が306.3千円(同0.8%減)、高校卒が288.1千円(同0.0%)に対し、女性では、大学・大学院卒が288.7千円(同0.3%増)、高専・短大卒が255.6千円(同1.2%増)、高校卒が208.3千円(同0.3%増)となっている。女性の賃金は、全ての学歴で前年を上回った。

女性は全規模で前年を上回る

企業規模別に見ると、男性では、大企業が384.8千円(前年比0.7%減)、中企業が320.2千円(同0.0%)、小企業が290.9千円(同0.8%増)となった。これに対し、女性では大企業が268.7千円(同0.1%増)、中企業が242.3千円(同0.8%増)、小企業が219.1千円(同1.2%増)で、男性では小企業が前年を上回ったのに対し、女性は全ての規模で前年を上回っている。こうしたなか、大企業の賃金を100として、中企業の賃金は男性で83.2(前年82.6)、女性で90.2(同89.6)、小企業の賃金は男性で75.6(同74.4)、女性で81.5(同80.6)となった。総じて、企業規模間における賃金格差は、男女ともに縮小した。

一方、主な産業別に見ると、男性で

最も高いのは、金融業、保険業(466.4千円)で、次いで教育、学習支援業(435.0千円)。最も低いのは宿泊業、飲食サービス業(271.1千円)となっている。これに対し、女性では、教育、学習支援業(304.2千円)が最も高く、これに情報通信業(300.0千円)が続く。最も低いのは宿泊業、飲食サービス業(196.7千円)である。

短時間労働者の賃金は男女とも過去最高

短時間労働者の1時間当たりの賃金を見ると、男女計では1,075円(前年比1.5%増)で、男性が1,134円(同0.1%増)、女性が1,054円(同2.1%増)と、いずれも過去最高を更新した。

男女別かつ年齢階級別に見ると、男性では20~24歳以降、女性では25~29歳以降で1,000円を超え、最も賃金が高い年齢階級は、男性が60~64歳で1,250円に対し、女性は30~34歳で1,115円となっている。

企業規模別に眺めると、男性では大企業が1,096円(前年比0.7%増)、中企業が1,167円(同1.2%増)、小企業が1,150円(同1.9%減)となった。これに対し、女性では大企業が1,055円(同2.9%増)、中企業が1,071円(同2.5%増)で、小企業が1,037円(同0.5%増)となっている。

主な産業別に見ると、男性では、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、サービス業(他に分類されないもの)で1,000円を超えている。一方、女性では医療、福祉や、サービス業(他に分類されないもの)で1,000円を超えた。(調査部)